会員　各位

令和５年２月

鼠駆除

高野台町会会長　増島光博
環境衛生部　吉村・矢田

本年度の殺鼠剤配付は完了、来年度から希望者に直接手交方式に変更します。

殺鼠剤については「鼠駆除・撲滅」を目的に練馬区より例年希望者に配布してきました。当町会では１０年前には２００軒程度配付していたが、会員の撲滅努力により減少の一途を辿っていまして、ここ数年は４０軒前後で固定され本年は３９軒の配布となりました。

従来の配布方法は①希望者の募集回覧→②取り纏め（会員→班長→支会理事→支会長→環境衛生部）→③必要数を区に申し込み→④殺鼠剤を区から受領→⑤希望者に配付（環境衛生部→支会長→支会理事→班長）→⑥希望者（会員）が受領。・・劇薬なので配付過程で散逸の不安がある。

なお一層の撲滅を目指し来年度から配付方法を下記の様に改めます。

記

① 「２月上旬を目途に配付連絡」の町会回覧を１月に回付。
② 希望者には指定日に直接「高野台地域集会所」にて手交する。

※会員の就業日程を考慮して土日、平日の２日間を設定、事前予約不要とします。
※殺鼠剤の誤飲は大人はまだしも、幼児が飲んだ場合は急性中毒となります、保管には十分注意してください。

以上

一層の撲滅を図る為に本年の受領者及び今後の各家庭の対策注意点を紹介します。

ネズミを効果的に駆除する殺鼠剤の設置方法及び予防法・・ネズミ駆除業者 HP より

・ねずみは雑食で何でも食べます、エサとなる物を排除する事で４～５日食べないと餓死します。家にある食べ物は密閉容器や扉付き戸棚に閉まって保管、ペットフードも狙われます。
・エサとなる物を排除してから≪殺鼠剤を設置≫エサが有ったら殺鼠剤を食べてもらえない。
・設置場所はねずみが餌場と認識している場所（以前かじった物がある場所）に狙いを付けて設置、ねずみは警戒心が強いので、普段の餌場以外は興味を示さない事が多い。
※キッチン回り、※冷蔵庫の裏、※棚の物陰等、一週間様子見で食べない場合は場所を変える。
・永年ねずみが住み着いている場合は、ねずみの餌場と化していると考えられます、食べ物をしっかり密閉したら少量与えるのではなく、各所に集中的に殺鼠剤を配置しましょう。
・殺鼠剤を食べてもらっても効果がない場合は、殺鼠剤への耐性力が強くなったねずみと考えられ遺伝子が引き継がれます、プロのねずみ駆除業者に相談する事がベターです。

回覧印

班長											